

参議院議員 室井 邦彦 様

要 望 書

未来創生交流のまち 下郷
～つなぎ、育み、人づくりのまちを目指して～



会津縦貫南道路4工区湯野上バイパス 6号橋施工状況



福島県南会津郡下郷町

1 地域高規格道路「会津縦貫南道路」の整備促進について

国道118号・国道121号は、会津地方を縦貫する主要な幹線道路であり、「会津縦貫道路」は、山形、福島、栃木の三県にまたがる地域高規格道路として、観光や物流などの広域的な交流、連携、緊急時における幹線道路の代替性などとして大きな効果が期待されている道路であります。その中で会津縦貫北道路（喜多方～会津若松間延長13.1km）は、すでに供用開始がなされているところです。

しかしながら当町において国道118号・国道121号は、小沼崎地区、湯野上地区をはじめとして狭隘かつ線形不良なうえ、極めて急峻な地形にあり、雪崩や落石が発生する危険な箇所が多数存在するとともに、行楽シーズンには大内宿へ向かう車両による渋滞が発生し、重症救急患者の高度医療機関への搬送等、地域生活に大きな支障を来しており、一年を通じた交通の利便性や、安全性の確保が極めて重要な課題となっております。

このような中で会津縦貫南道路は、平成24年度に第4工区湯野上バイパス約8.3km区間が国直轄権限代行事業として採択していただき、開通に向けた整備にご尽力いただいております。現在、トンネルや橋梁などの構造物をはじめとして、バイパス区間全体にわたって事業展開され、2号トンネルの掘削等も確実に進捗が図られております。また、同じ第4工区の小沼崎バイパス約1.5kmでは、田代トンネルが貫通し下郷大橋の整備も進み、令和5年度内の供用開始の見通しが福島県より発表され、益々期待が膨らんでおります。

さらに、第5工区下郷田島バイパス約11.1km区間におきましても、本年度より下郷町内の工事が着工され、早期完成に向け町民からも期待されております。

つきましては、下郷町における地域生活の利便性、安全性の確保、観光や物流などの広域的な連携交流促進、地域産業の活性化及び医療過疎の解消等を図るため、地域高規格道路「会津縦貫南道路」全線の早急な整備促進について下記のとおり強く要望いたします。

記

1 湯野上バイパスの早期完成

2 下郷田島バイパス（5工区）の早期完成

2 道路整備に必要な予算の確保について

道路は、地域の経済活動や住民の安全、安心な生活を支える最も基本となる社会資本であり、個性あふれる地方の創生に極めて重要な役割を果たしております。

特に、公共交通機関が少なく、社会、経済活動の大部分を自動車交通に依存せざるを得ない当町においては、今後、道路ストックの急速な老朽化も予測されることから、その維持管理・更新に係る十分な予算の確保や地方創生を実現するために必要な社会基盤の整備、特に地域の拠点性の向上に必要な道路整備予算の確保が喫緊の課題とされております。

つきましては、地方における道路の重要性をご理解いただきまして、真に必要な道路整備を強力に進めるために必要な道路予算を確保されますよう強く要望いたします。

令和5年10月30日

下 郷 町 長 星

學

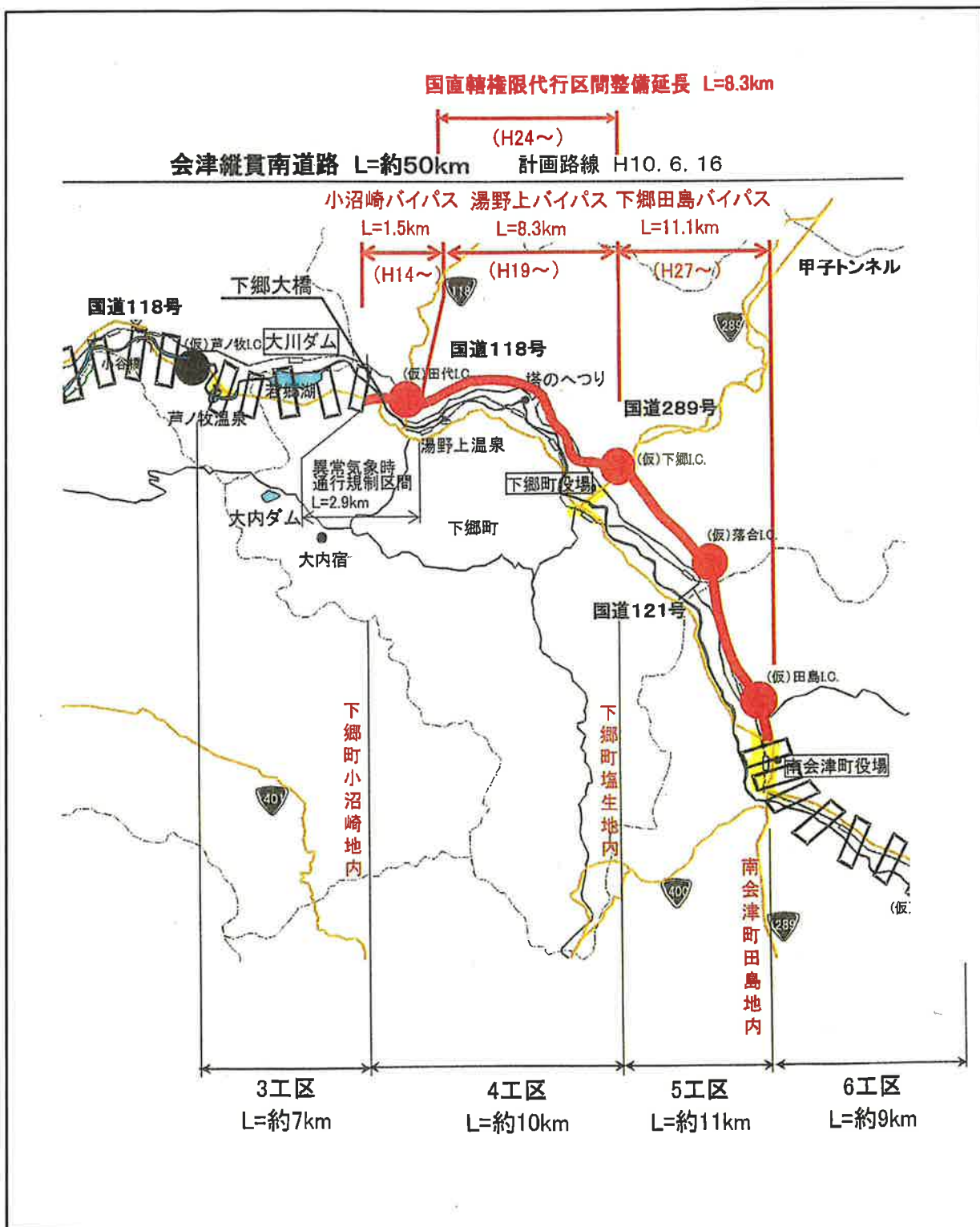


下郷町議会議長 小 玉 智 和



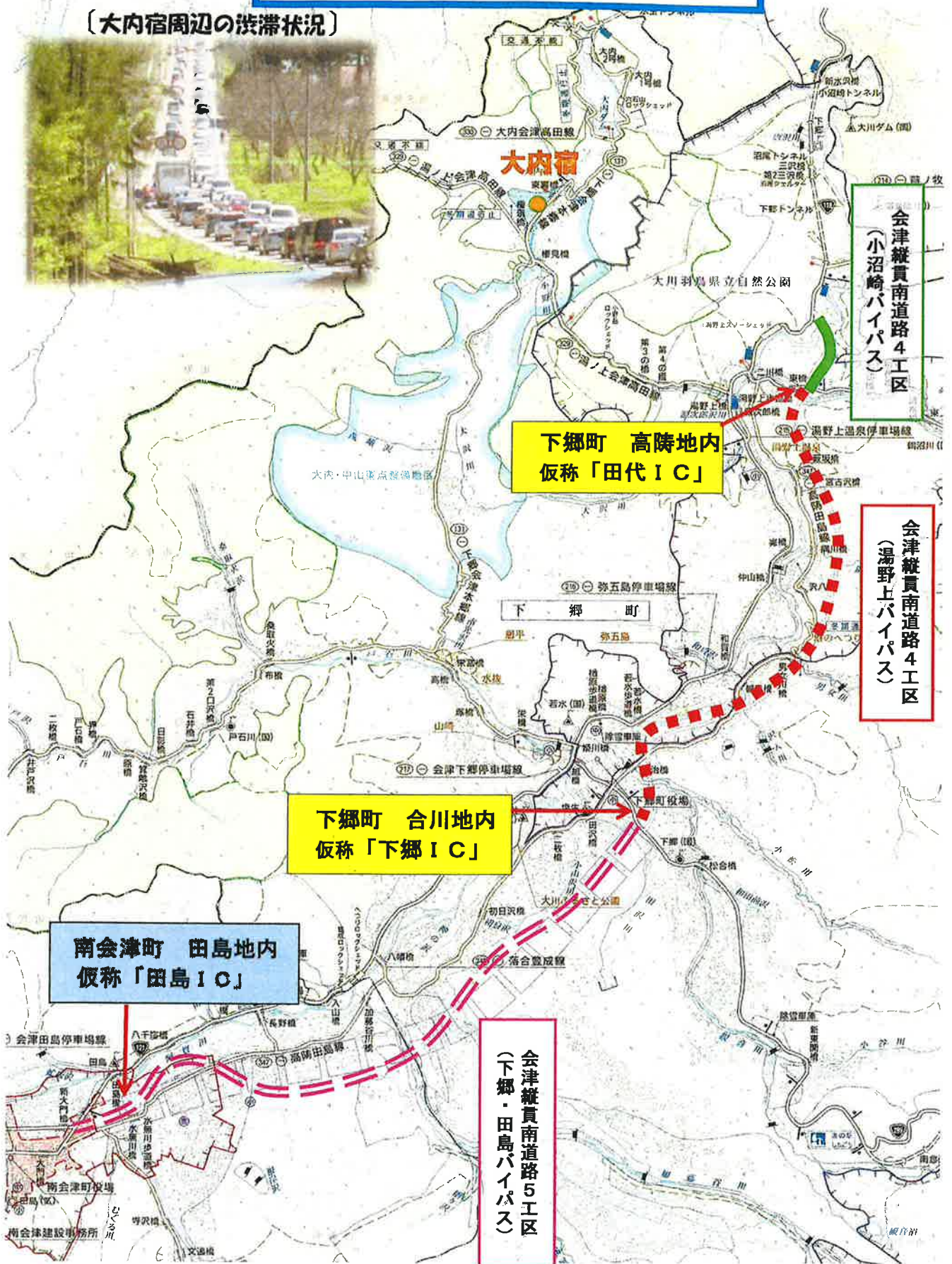


地域高規格道路「会津縦貫南道路」
小沼崎バイパス 湯野上バイパス 下郷田島バイパス



要望箇所位置図

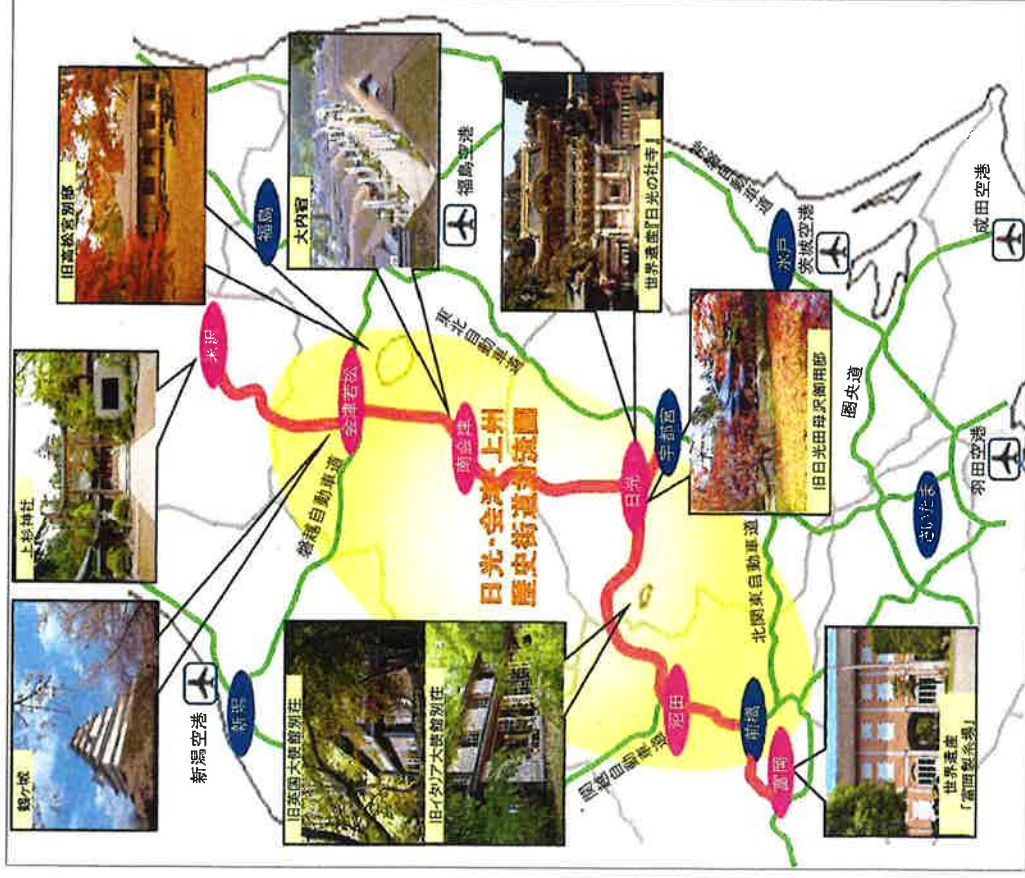
〔大内宿周辺の渋滞状況〕



■隣県と連携した広域周遊観光の促進に期待

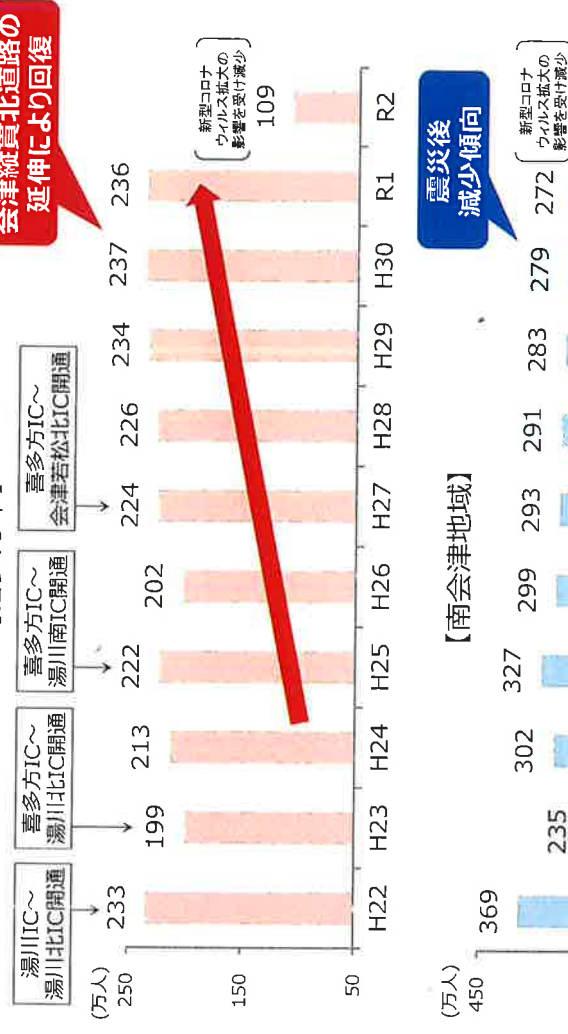
- ◆福島県会津地方は、全国的に名高い歴史・文化を有する福島県の観光・リゾートの中心的な地域
- ◆東日本大震災後観光客は減少したが、隣県と連携した広域観光の促進に力を入れている
- ◆会津縦貫北道路の開通により喜多方市では観光客が増加、一方南会津地域の観光客数は震災以降回復していない
- ◆会津縦貫南道路の延伸により会津地方の広域周遊観光が促進、南会津地域の交流人口拡大が期待される

▼隣県との連携：日光・会津・上州歴史街道対流圏の強化プロジェクト



▼観光入込客数の推移

【多市】



南会津地域：下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町

出典：福島県観光客入込状況

《地域の観光関連団体の声》



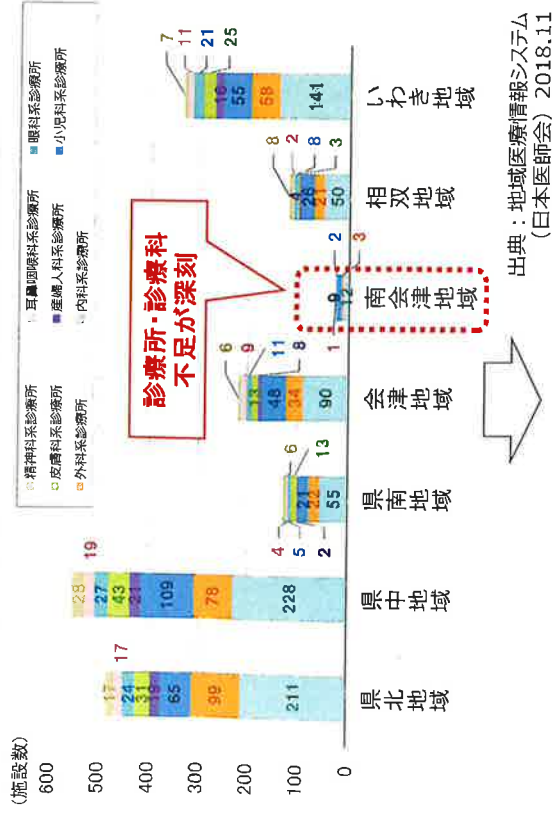
- ・観光期は国道121号含め周辺道路が大変混雑するため、**地域住民や物流業者は混雑時間帯、混雑区間を避けて移動するなど様々な障害が発生しています。**
- ・湯上りバスが開通し、国道121号現道とあわせて活用することで、**観光交通と生活・物流交通の使い分けができるようになると期待しています。**

出典：R3.9下郷役場ヒアリング結果

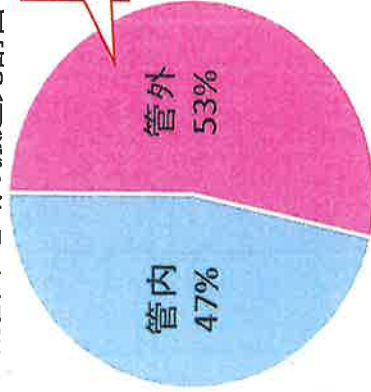
救急搬送の迅速化に期待

- ◆南会津地域は第三次医療施設がなく、病院・診療所が少ないため、管外への救急搬送割合が高い。
- ◆そのため、重篤患者は管外病院への搬送が必要であるが、第三次医療施設への搬送に60分以上かかる地域が広く存在。
- ◆湯野上バイパス整備により、救急搬送時間が短縮し、60分圏人口の拡大および救命率の向上に寄与。

福島県の地域別診療課別の診療所数

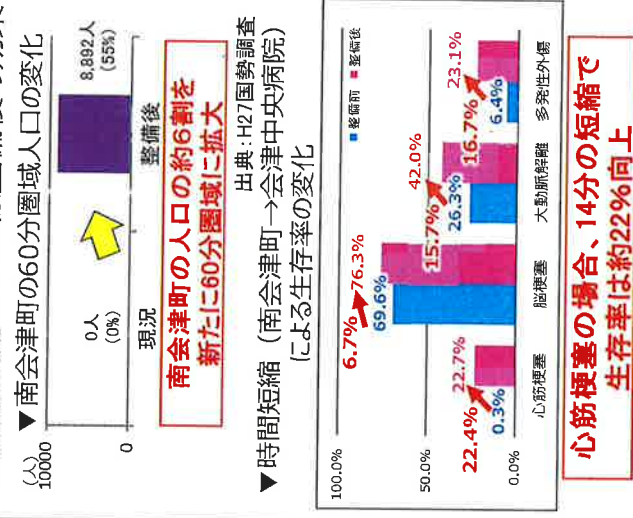


南会津地域の搬送先割合



出典：R1南会津広域消防本部ヒアリング結果

会津縦貫南道路全線整備後の効果



資料：道路整備による救急医療改善効果、藤本ら (交通工学, 2010年9月)



《地域の救急救命活動従事者の声》

- ・南会津地域内の病院は脳・循環器系の診療対応ができていないため、半数以上の患者を管外(会津若松市内)の病院へ搬送している。
- ・搬送時間が短くなれば救命率の向上に繋がる。



《地域の第三次医療施設の声》

- ・南会津地域は、重篤患者を受け入れることができる第三次医療施設がなく、当院までの移動に時間を要することから、医師と患者を救急搬送の途中でドクターカーでドッキングする会津地域独自の対応を取っている。
- ・ドクターカーの活用など搬送時間を短縮する努力を行っており、道路も整備推進による時間短縮に期待している。

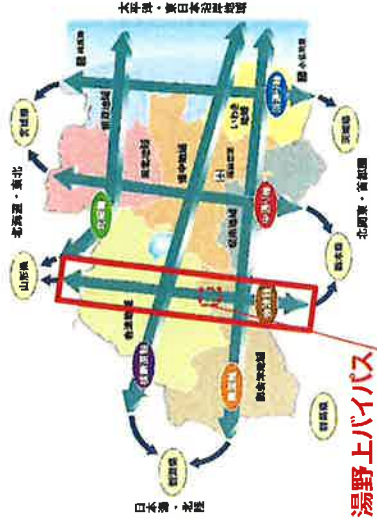
出典：R3.9会津中央病院ヒアリング結果



交通の利便性・安全性の確保に期待

- ◆ 国道121号は県内の生活圏を結ぶ連携軸の一部である会津軸を担うが、会津縦貫南道路現道区間では**過去10年間で6回の落石・雪崩等による通行止めが発生**するなど、地形や気象条件を要因とする通行障害により、地域生活に大きな支障
- ◆ 線形不良箇所、幅員狭小区間が多く、**大型車の通行に支障。観光交通による渋滞も発生**
- ◆ 会津縦貫南道路の延伸により、1年を通じた**交通の利便性・安全性の確保や緊急時における代替性確保に期待**

▼6本の連携軸



出典：福島県の道路2017

▼落石・雪崩等による通行止め発生状況 (国道121号:会津縦貫南道路現道区間)

過去10年間で6回計160時間の交通規制を実施

規制期間	延長 (km)	規制理由	規制方法	規制時間
1 H23.6.26	4.5	落石	全止	不明
2 H23.7.28~8.1	5.0	土砂流出	片交	97時間
3 H23.8.7~8	2.5	土砂流出	片交	7時間
4 H25.2.15~16	3.0	雪崩	全止	31時間
5 H27.9.10	6.5	土砂崩れ	全止	17時間
6 R1.10.12~13	3.0	落石の恐れ	全止	11時間

出典：福島県資料 (H22~R2)

▼大型車の隘路状況 (国道121号:湯野上交差点)

大型車はR121から県道（大内宿方面）へ左折する際は、対向車線にはみ出さないと左折できない



▼大型車同士のすれ違い状況 (国道121号:下郷町内)

R121は大型車同士がすれ違いうのに十分な幅員が確保されておらず、冬期は堆雪により一層すれ違いが難しい状況



▼線形不良箇所と落石発生箇所 (国道121号:湯野上バイパス現道区間)



出典：福島県資料 (H22~R2)

▼大型車の隘路状況 (国道121号:下郷町湯野上地区)

集落連担地区は、道路幅員が狭く、大型車はセンターラインをはみ出す



▼観光期の渋滞状況 (国道121号:湯野上交差点)

大内宿への観光渋滞はR121まで及び、一般交通（日常交通）へも影響を及ぼしている





下郷町長

□ 星 學

下郷町議会

□ 議長 小玉 智和
副議長 星 輝夫

□ 総務文教常任委員会

委員長 湯田 健二
副委員長 玉川 邦夫
委員 佐藤 能昌
委員 星 星彦

□ 産業厚生常任委員会

委員長 小椋 淑孝
副委員長 佐藤 盛雄
委員 湯田 純朗
委員 山名 久美子
委員 星 和志

〒969-5345 福島県南会津郡下郷町大字塩生字大石1000番地

下郷町役場 TEL0241-69-1122 議会事務局 TEL0241-69-1123